

利 用 に あ た っ て

1. 編集の方針

- (1) 双書「校内研究ハンドブック」は、小・中学校における「校内研究」の改善・充実のための参考資料として活用されることを願って作成しました。
- (2) 小・中学校における「校内研究」を具体的に進める上で、誰もが簡単にどの部分からでも使用できるように「手引書」的な性格を持たせました。
- (3) 「校内研究」を進める上で必要とする事項を単に網羅するのではなく、「校内研究の意義」「研究主題の設定」等、重要な8項目を設け、それぞれの項目ごとに具体的な問題点を挙げながら、それを解決するための視点や方途を示してあります。

2. 利用にあたっての留意点

- (1) 内容は、Ⅰ 校内研究の意義、Ⅱ 研究主題の設定、Ⅲ 仮説の設定、Ⅳ 授業研究、Ⅴ 研究計画、Ⅵ 研究組織・運営、Ⅶ 調査、資料、Ⅷ 研究のまとめの8項目に分類してあります。必要な項目や問題点を取り出してご利用ください。
- (2) 問題点や改善の方途は、あくまでも校内研究を進めるための参考例です。学校の実態・実情に合わせ公務におけるそれぞれの立場で利用の仕方を工夫してください。
- (3) 「一般に見られる問題点」は、自校の校内研究の現状を対象にしてこうした問題が生じないための事前チェックとしても利用することができます。